

知事と県議会による原発再稼働容認決定は認められない 公約と慎重ポーズすら投げ捨てた姑息なやり方に抗議します 県民に選ばれた知事が信を問うべきは県民です！

花角知事の「公約」とは何だったのか

2018年6月10日投票の新潟県知事選に立候補した花角英世氏は、6月7日、9日、10日の3日間にわたって新潟日報紙に「脱原発の社会をめざします」の見出しが踊る1面全面広告を掲載。その内の2回には「新潟県の3つの検証が終わるまで再稼働の議論はしません！再稼働の是非は、県民に信を問います！」と書いて、脱原発を掲げて迫る相手候補をかわして当選しました。

その公約にこの7年半の間、花角知事は「どう向き合ってきたのでしょうか。」

●「脱原発の社会をめざします！」については？
当選後は全く言及していません。この度の再稼働容認判断で、その場しのぎの公約だったことがいっそうはつきりしました。



●「再稼働の是非は、県民に信を問います！」は？
選挙戦で花角氏は聴衆に向かって「みなさんに信を問います」と明言しています。具体的な「信の問う方」をいくらか聞いてもはぐらかしてきましたが、



2018年6月9日(土)投票日前日に新潟日報に掲載された意見広告。花角英世候補の名前と顔写真がしっかり入っています。

*原発再稼働を考える長岡の会では、県議会での採決の前に急遽、長岡市・三島郡区選出県議に手紙を出し、知事の再稼働容認に待ったをかけるように要請しました。(裏面に掲載)

「6方向の避難道路を計画するから大丈夫とか言うけれど、避難したまま戻ってこれないかも」「原発事故が起きたらどう責任をとるといのか！」等不安、心配、怒りが渦巻いています。
原発問題への会員のみなさんの思いやご意見をお寄せください。交流しましょう。

*400字以内 *FAX(0258-35-4137) または*PCメール (s.machi0824@gmail.com)

※ニュース担当 宍戸宛

【県民ネットワークで確認された当面の運動目標】 「『県民投票条例』制定を公約に 掲げた知事候補を擁立し勝利する」

☆今後、具体的な方針が正式に提起される予定です。
県民の意思を尊重する県政を実現しましょう！

「常識的に考えればわかりますよね」と知事選や直接投票をおわせてきました。だれも県議会を県民とは思わないはずです。「職を賭す」とも言いましたが、一般的には、判断を示した後辞任するとか、次の選挙で県民に諮るといふことではないでしょうか。

ところが、唐突に「制度上、知事の職を止められるのは議会だけだ」などと事実でないまやかしの理屈で、何重にも公約に違反する「再稼働容認」「信を問うのは県議会」という決定をしました。公約を守らなかつたことへの反省も、再稼働による県民の不安な思いへの言及もない、誠意のない知事の傲慢な姿勢と重大な決定に、強い憤りをもって抗議し、撤回を求めます。

◆抗議集会のご案内 1月11日(日) 13時半〜万代市民会館



1月のアオーレ前宣伝行動は 1月11日(日)12時~12時30分 ☆ぜひご参加ください

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第165号 2025年12月22日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707